



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3916-3111

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	16,151	△1.7	428	65.2	711	104.2	732	104.3
26年3月期第2四半期	16,430	10.2	259	△53.3	348	△18.0	358	72.9

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 1,253百万円 (32.9%) 26年3月期第2四半期 943百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	36.60	—
26年3月期第2四半期	17.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	27,226		18,448		67.8	
26年3月期	25,949		17,768		68.5	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 18,446百万円 26年3月期 17,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,800	2.5	1,200	117.0	1,110	25.5	830	31.8	41.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	20,849,878 株	26年3月期	20,849,878 株
27年3月期2Q	845,075 株	26年3月期	845,075 株
27年3月期2Q	20,004,803 株	26年3月期2Q	20,005,032 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国で雇用、所得環境の改善により個人消費に底堅さが見られるものの、欧州経済の牽引役であるドイツ経済の景気後退懸念や、中国での不動産市場の冷え込みによる景気減速も見られ、全体として下振れリスクが強まってきております。

わが国におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や、悪天候の影響から、消費の足踏みが見られるものの、雇用環境改善の維持も見られ、弱いながらも緩やかな回復基調が続いています。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、成長を牽引する環境対応車やスマートフォン/タブレット端末関連分野での覇を競って熾烈な競争が繰り広げられており、世界シェア上位が容易に変わり得る状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション(プロダクト/プロセス/パーソネル)の推進に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間におきましては、車載通信機器セグメントの生産拠点であるベトナム工場におきまして、第2期拡張工事完了に伴う生産ラインの新設/移設を実施し、着々と量産を拡大し、中国工場との二大主力生産拠点化を推進いたしました。また、コネクタ製品の主力生産拠点であるマレーシア工場では、生産移管をさらに推進するとともにさらなる原価低減活動にも取り組み、回路検査用コネクタセグメントの収益性改善に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、車載通信機器セグメント及び回路検査用コネクタセグメントが増収となった一方、無線通信機器セグメントは前年同期比で大幅な減収となり、161億5千1百万円(前年同期比△1.7%)となりました。営業損益は、中国での労務費増加が続いている一方、ベトナム工場への生産移管、マレーシア工場への生産移管により4億2千8百万円の利益(前年同期比+65.2%)と、前年同期比で増益となりました。経常損益につきましては、急激な円安進行に伴う為替差益2億7千3百万円の計上により、7億1千1百万円の利益(前年同期比+104.2%)と、前年同期比で大幅な増益となりました。

四半期純損益につきましては、投資有価証券の売却益など特別利益1億1千9百万円の計上もあり、7億3千2百万円の利益(前年同期比+104.3%)と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、景気回復と低金利を背景に、堅調な需要が続いている米国市場とマイカーブームによる底堅い需要が続いている中国市場に牽引され、着実に拡大を続けております。国内におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込みによる受注残が一巡したことによる反動減で国内の新車販売は減少いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナ/シャークフィンアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品は、米国向けを中心に海外向けの販売が順調に推移し、前年同期を上回りました。また、国内向けを主とするフィルムアンテナの販売も、ディーラーオプション向けの伸長などにより、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は107億4千1百万円(前年同期比+8.6%)と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、5千1百万円の利益(前年同期比+64.0%)となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、OSソフトの更新需要は一段落したものの、先進国市場の法人需要が回復を見せているパソコン向けや、スマートフォンなどの携帯端末向けをはじめ、クラウドコンピューティング向けや電子制御化が進む車載分野向けは順調に拡大するものと見られております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるIC検査用BGAソケットの販売が、スマートフォンなどの携帯端末向け検査需要の積極的な取り込みなどにより順調に推移し、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は33億2千4百万円(前年同期比+8.6%)と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、4億2千8百万円の利益(前年同期比+234.4%)と大幅な増益となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場である携帯端末市場は、スマートフォン/タブレット端末では先進国市場が飽和状態に近づいており、今後は成長鈍化が見込まれるものの、中国をはじめとする新興国向け低価格スマートフォンや画面サイズの大きなスマートフォン、所謂ファブレットが成長を牽引するものと見られます。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、主要顧客の販売不振などによる受注減少に伴い、売上高は前年同期を下回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましては、ガイドワイヤユニット/カテーテルなど組立加工ビジネスの拡大に努めましたが、海外顧客向けの一時的な販売減少に伴い、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は20億8千5百万円（前年同期比△40.1%）と、携帯端末向けアンテナ事業からの撤退もあり、前年同期比で大幅な減収となりました。セグメント損益につきましては、5千5百万円の利益（前年同期比△45.3%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前年度上期	前年度下期	当年度上期	前年同期比	前半期比
	自平成25年4月 至平成25年9月	自平成25年10月 至平成26年3月	自平成26年4月 至平成26年9月		
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	9,887	10,874	10,741	+8.6	△1.2
回路検査用コネクタ	3,061	2,940	3,324	+8.6	+13.1
無線通信機器	3,482	2,725	2,085	△40.1	△23.5
合計	16,430	16,540	16,151	△1.7	△2.3

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況に関する分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権増加3億8千2百万円、たな卸資産増加6億7百万円、有形固定資産増加1億8千7百万円などにより、272億2千6百万円（前連結会計年度末比12億7千6百万円の増加）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加8千3百万円、賞与引当金増加9千8百万円、退職給付に係る負債増加3億1千9百万円などにより、87億7千7百万円（前連結会計年度末比5億9千6百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益7億3千2百万円の計上、為替換算調整勘定増加4億6千2百万円、その他有価証券評価差額金増加5千1百万円、期末配当金1億円、退職給付会計基準等の変更による利益剰余金減少4億7千5百万円などにより、184億4千8百万円（前連結会計年度末比6億8千万円の増加）となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は67.8%（前連結会計年度末比△0.7ポイント）となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、30億8千2百万円（前年同期比3億1千5百万円の増加）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権増加1億8千1百万円、たな卸資産増加4億1千万円などの減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益7億9千3百万円、減価償却費7億9千万円などの増加要因により、5億5千7百万円の収入（前年同期比7億6千4百万円の収入増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入1億5千2百万円などの増加要因がありましたが、有形固定資産の取得による支出6億4千5百万円、無形固定資産の取得による支出7千7百万円などの減少要因により、5億1千7百万円の支出（前年同期比6億9百万円の支出減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出1億3千1百万円、配当金の支払額9千9百万円などの減少要因により、2億3千1百万円の支出（前年同期比5億8千4百万円の支出増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前記「(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、当第2四半期連結累計期間の業績は、業績予想値に対して想定範囲内での進捗となりました。従いまして、通期の連結業績予想の変更はいたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が124,535千円減少並びに退職給付に係る負債が350,586千円増加し、利益剰余金が475,121千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,562千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,059,919	3,082,483
受取手形及び売掛金	6,671,649	7,054,454
商品及び製品	2,031,592	2,405,426
仕掛品	181,213	218,548
原材料及び貯蔵品	1,767,926	1,964,145
その他	1,060,017	1,202,616
貸倒引当金	△10,160	△19,097
流動資産合計	14,762,158	15,908,577
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,659,020	2,738,139
その他(純額)	4,740,463	4,848,869
有形固定資産合計	7,399,484	7,587,008
無形固定資産		
その他	898,408	957,035
無形固定資産合計	898,408	957,035
投資その他の資産	2,889,845	2,773,943
固定資産合計	11,187,737	11,317,987
資産合計	25,949,895	27,226,565
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,482,499	3,565,701
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	118,974	95,655
賞与引当金	330,347	429,262
その他	1,543,283	1,598,455
流動負債合計	7,075,104	7,289,074
固定負債		
退職給付に係る負債	127,399	447,216
その他	979,086	1,041,418
固定負債合計	1,106,485	1,488,634
負債合計	8,181,589	8,777,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	9,556,358	9,713,435
自己株式	△991,355	△991,355
株主資本合計	16,543,200	16,700,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453,950	505,175
為替換算調整勘定	580,958	1,043,163
退職給付に係る調整累計額	190,197	198,328
その他の包括利益累計額合計	1,225,105	1,746,667
新株予約権	—	1,911
純資産合計	17,768,305	18,448,856
負債純資産合計	25,949,895	27,226,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,430,321	16,151,753
売上原価	13,252,588	12,969,682
売上総利益	3,177,732	3,182,071
販売費及び一般管理費	2,918,157	2,753,201
営業利益	259,574	428,870
営業外収益		
受取利息	3,297	2,908
受取配当金	21,888	21,007
為替差益	68,356	273,325
その他	20,397	24,082
営業外収益合計	113,939	321,323
営業外費用		
支払利息	16,281	16,092
輸送事故による損失	—	8,974
その他	8,805	13,741
営業外費用合計	25,087	38,808
経常利益	348,426	711,385
特別利益		
固定資産売却益	83	5,537
投資有価証券売却益	—	113,740
特別利益合計	83	119,277
特別損失		
固定資産売却損	145	10,467
固定資産除却損	10,635	13,009
事業構造改善費用	—	13,639
特別損失合計	10,781	37,116
税金等調整前四半期純利益	337,728	793,546
法人税、住民税及び事業税	95,153	87,096
法人税等調整額	△115,918	△25,773
法人税等合計	△20,764	61,323
少数株主損益調整前四半期純利益	358,493	732,223
四半期純利益	358,493	732,223

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	358,493	732,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292,350	51,225
為替換算調整勘定	292,261	462,205
退職給付に係る調整額	—	8,131
その他の包括利益合計	584,611	521,562
四半期包括利益	943,104	1,253,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	943,104	1,253,785
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	337,728	793,546
減価償却費	750,491	790,488
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,363	7,489
賞与引当金の増減額(△は減少)	53,330	91,348
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△22,464	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△22,637
受取利息及び受取配当金	△25,185	△23,915
受取保険金	△1,137	-
支払利息	16,281	16,092
為替差損益(△は益)	△95,873	△292,915
固定資産売却損益(△は益)	62	4,930
固定資産除却損	10,635	13,009
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△113,740
売上債権の増減額(△は増加)	△638,919	△181,060
たな卸資産の増減額(△は増加)	△448,447	△410,721
仕入債務の増減額(△は減少)	△112,292	13,276
輸送事故による損失	-	8,974
事業構造改善費用	-	13,639
その他	36,181	△81,980
小計	△136,244	625,823
利息及び配当金の受取額	25,185	23,915
利息の支払額	△16,166	△15,227
保険金の受取額	1,137	-
法人税等の支払額	△81,349	△56,441
輸送事故による支出	-	△8,974
事業構造改善費用の支払額	-	△11,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	△207,438	557,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,011,353	△645,817
有形固定資産の売却による収入	2,271	5,268
無形固定資産の取得による支出	△90,037	△77,993
投資有価証券の売却による収入	-	152,460
その他	△27,918	48,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,127,037	△517,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	-
リース債務の返済による支出	△146,890	△131,670
配当金の支払額	△100,127	△99,749
その他	△53	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	352,928	△231,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	138,150	214,001
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△843,396	22,563
現金及び現金同等物の期首残高	3,609,895	3,059,919
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,766,498	3,082,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,887,274	3,061,035	3,482,010	16,430,321	—	16,430,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	115,124	—	115,124	△115,124	—
計	9,887,274	3,176,159	3,482,010	16,545,445	△115,124	16,430,321
セグメント利益	31,344	128,025	101,501	260,871	△1,296	259,574

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	260,871
たな卸資産未実現利益調整額	△37,824
たな卸資産評価減調整額	△9,829
その他調整額	46,357
四半期連結損益計算書の営業利益	259,574

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,741,662	3,324,651	2,085,439	16,151,753	—	16,151,753
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	111,966	—	111,966	△111,966	—
計	10,741,662	3,436,617	2,085,439	16,263,719	△111,966	16,151,753
セグメント利益	51,413	428,058	55,508	534,981	△106,110	428,870

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	534,981
たな卸資産未実現利益調整額	△70,660
たな卸資産評価減調整額	△24,611
その他調整額	△10,839
四半期連結損益計算書の営業利益	428,870